

テレビアニメ「サザエさん」の磯野波平さんは、定年後の再雇用で働いているシニアスタッフ、ではない。髪形やオフの時の和装のせいか正直老けて見えるけれど、54歳の現役会社員である。

サザエさんのアニメ放送が始まった1960年代後半の一般的な定年は55歳で男性の平均寿命は69・3歳（70年）だった。

今は男性の平均寿命が81歳ぐらい。当時より12歳ほど高いから定年も12歳引き上げる超単純計算を



水説 sui-setsu

70歳まで働く？

福本 容子

すると67歳。そう思えば「70歳定年も違和感はない気がする。

でも人生は超単純じゃない。

アメリカ・ボストン・カレッジの退職研究センターが今年2月に発表したリポートは、まさに「思い通りにならない人生」を示した。

「65歳を過ぎても働きたい」と希望する人は、アメリカでも91年

の16%から2018年の48%へと大幅に伸びた。ところが実際はど

うかというところ、65歳退職を希望し

た人の42%、66歳以上の退職希望者の55%が、目標に達する前に退職していた。

途中で失職した、親の介護など家庭の事情で働けなくなった、とかさまざま「想定外」が背後に

ある。けれど最大の理由は、健康の悪化だとわかったそう。

健康問題にも2パターンある。

もともと不安を抱えていながら、

「大丈夫、働ける」と楽観していたパターンと、年をとるにつれ、病気を抱えるようになったというパターンだ。

さらに気になる傾向が別の論文で明らかになった。こちらはスウェーデン・イェーテボリ大の研究

なのだが、学歴の低い人ほど、経済的な理由から高齢になっても引

退できない。また、高学歴の人に比べ健康管理ができる環境に恵まれないため、病気を抱えがち。それでも働き続けなければならぬ

からさらに健康を悪化させ、意思に反して引退を余儀なくされる。

日本政府が定年70歳を視野に、高齢者も雇いなさい、と企業に要求を始めた。厳しくなる一方の社会保障財政を考えた時、70歳まで働く、を前提にできれば何かと都合が良いのだろう。消費税をさらに上げたり、高齢者の負担を増や

したり、という「痛み」なしでも、財政は大丈夫です、とつじつまを合わせやすくなる。

磯野波平さん宅と違い現実の世界では、40年に高齢世帯の4割が1人暮らしになるそう。認知症人口も気合じゃ減らない。

「思い通り」が努力ではかなわない個人を支えるためにあるのが社会保障。それを長続きさせる責任を負うのが政府のはずだ。

（論説委員）